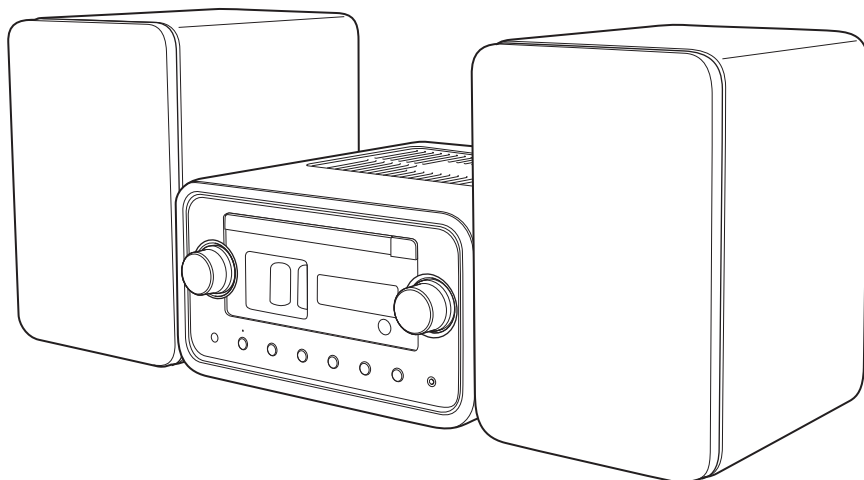


取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 6
使用前の準備	P. 8
正しい使いかた	P. 11
通常の操作	P. 11
CDを聴く	P. 14
USBメモリーのMP3 / WMAを聴く	P. 19
Bluetooth [®] 機器を聴く	P. 20
FMラジオを聴く	P. 22
外部入力を聴く	P. 25
便利な使いかた	P. 26
お手入れのしかた	P. 28
修理・サービスを依頼する前に	P. 29
主な仕様	P. 31
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙





安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	雷が鳴り始めたら、電源プラグに触れない。 感電の危険があります。	 指示	取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		本機に対してスプレー式のアダプターを使用しない。 本機の内部にガスがたまると、引火して爆発する原因になります。		 プラグを抜く
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。
本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。					

⚠ 注意

 禁止	<p>次のようなところでは使わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ホコリの多いところ <p>変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。</p>	 禁止	<p>リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。</p> <p>液もれや破裂・火災などの原因となります。</p>	 指示	<p>長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。</p> <p>長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>
	<p>熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。</p> <p>キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。</p>		<p>真空管に触れない。</p> <p>動作中は真空管および真空管カバーが高温になり、やけどの危険があります。</p>		<p>リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。</p> <p>そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>
	<p>不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。</p> <p>転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。</p>		<p>通風孔をふさがない。</p> <p>通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因になることがあります。</p>		<p>音量に注意する。</p> <p>使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。</p>
	<p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。</p> <p>変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>		<p>電池の極性に注意する</p> <p>電池をセットするとき、電池の+(プラス)と-(マイナス)に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。</p>		<p>本機を設置するときは、壁から20cm以上の間隔をあける。</p> <p>ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上の間隔をあける。</p> <p>内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p>
<p>指定以外の電池を使用しない。</p> <p>電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。</p>	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。</p> <p>感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>				

ご使用になる前に

CD(MP3/WMA) USBメモリーについて

- USBメモリー**
- ・ファイルシステム FAT32
 - ・USB2.0対応
 - ・本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
 - ※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
 - ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
 - ・本機はUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。
 - ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

- CD**
- ・レッドブック：Audio CDフォーマット
 - ・ISO9660 準拠
 - ・CD-R/CD-RWに対応
 - ・本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3/WMAのディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。
- 「CDについて」(→5ページ)もお読みください。
- ・マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

- MP3**
- ・正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。
 - ・MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

- WMA**
- ・正式名称をWindows Media Audioという音声圧縮の規格。
 - ・WMAデータの認識はファイル拡張子「.wma」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.wma」を付けてください。拡張子「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wma」を付けていてもWMAデータ形式でないファイルは再生できません。
 - ・著作権保護されたWMAファイルは再生できません。

- MP3/WMA再生可能ファイル共通事項**
- ・ビットレート 96 ~ 320kbps (推奨)
 - ・サンプリング周波数 32kHz/44.1kHz/48kHz
 - ・99以上のファイルまたは99以上のフォルダーが記録されたディスクまたはUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。
 - ・本機は、ビットレート32kbps~320kbpsのMP3/WMAファイルを再生できます。
 - ・可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
 - ・MP3/WMAデータの状態によっては、本機では再生できなかったり、音が途切れることがあります。

Bluetooth について

Bluetooth(ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

- 本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。
- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。
- ・病院など医療機関、電車・航空機
 - ・自動ドアや火災報知機の周辺
 - ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」が本機の裏面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部 仕様	
適合規格	Bluetooth Ver.4.0
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP, AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

CDについて

結露について 寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起こります。
この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して、1時間程放置してください。

ディスク使用上の注意   ディスクに左のマークが入ったものをご使用ください。
コピーコントロールCD(CCCD)やDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正しく再生できないことがあります。

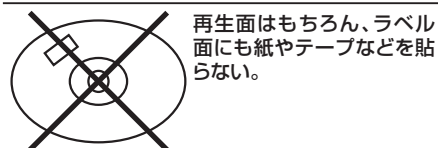
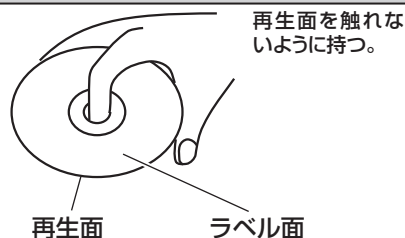


ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

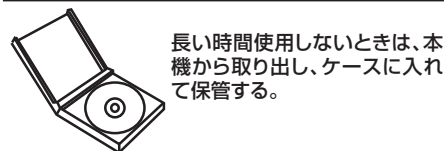
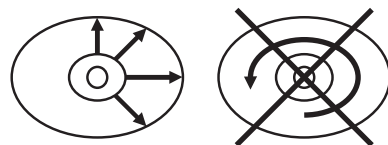


ハート型や八角形型などの特殊形状のディスクは使用しない。
機器の故障の原因となります。

ディスク取り扱い上の注意



ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



※クラス1レーザ製品です。

ボタン電池について

- ボタン電池を扱うときには
- 指定以外のボタン電池は使用しない。
 - 極性表示を間違えないで挿入する。
 - 水や火の中に入れてたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
 - 液漏れがおきたら使用しない。
- ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。
万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは、ボタン電池をはずしておく。
 - 使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

真空管について

- 本機は真空管を使用しているため、電源投入後すぐに使用開始できません。
- 真空管を使用しているため、使いかたによっては(長時間使用継続や大音量使用など)真空管を傷めてしまい、機器としての寿命を縮めることとなります。
- 煩雑な電源の入切、電源コードの抜き差しをしない。
 - 改造などで真空管を交換しないでください。
- 改造をすると、保証サービスを受けられないだけでなく、とても危険であるため、絶対しないでください。

NFC(近距離無線通信技術)について

- NFC接続を利用する** ・本機のNFC送受信部は本体上面にあります。
ればかざすだけでワンタッチで接続 ・本機の場合はBluetoothのペアリングと認証をNFCで行ない、簡単にBluetooth通信を開始させることに使います。

FM補完放送について

- FM補完放送(ワイ・ドFM)** ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76~90MHz、新たに設定された90.1~95MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。
本機はFM補完放送に対応しています。
※FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

免責事項について

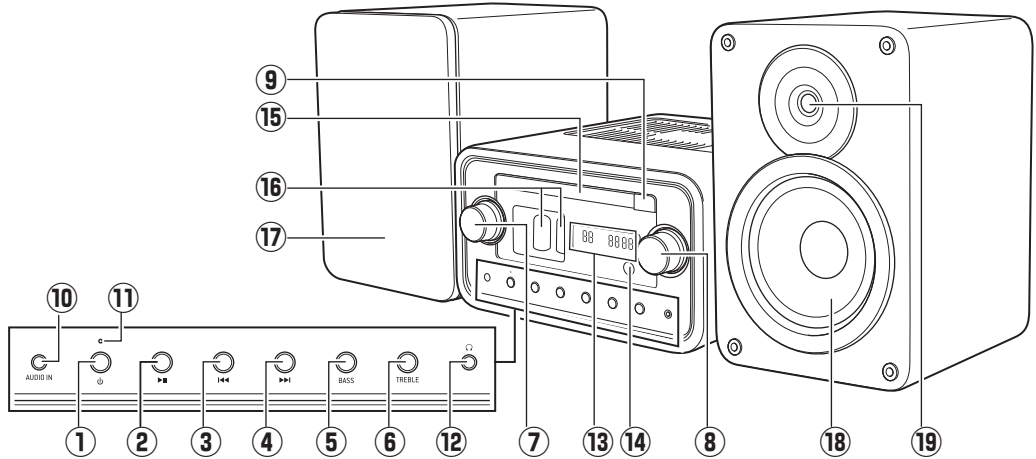
お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるディスク等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

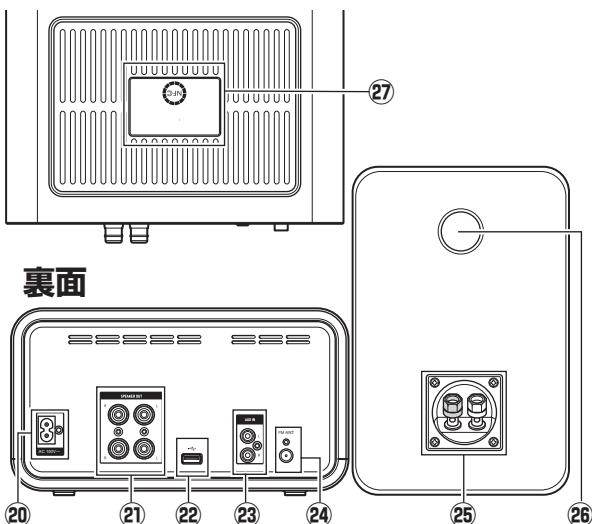
本体

前面



名称	機能	名称	機能
前面			
① 電源ボタン	電源を入/切(スタンバイ)します	⑧ 音量つまみ	音量を調節します。BASSとTREBLEの調節時にも使用します
② 再生/一時停止ボタン	再生または一時停止します	⑨ CDトレイ開閉ボタン	CDトレイを開閉します
③ スキップ-/早戻しボタン	前の曲に移動します。再生中は曲の始めに戻ります。再生時に長押しすると早戻しします。プリセット局を逆順に選局します	⑩ AUDIO IN端子	外部入力端子(3.5mm3極ステレオミニプラグ)
④ スキップ+/早送りボタン	次の曲に移動します。再生中は次の曲、最後の曲のときは最初の曲にスキップします。長押しすると早送ります。プリセット局を順に選局します	⑪ 電源ランプ	動作状態を表示します
⑤ BASSボタン	低音を調節できます	⑫ ヘッドホン端子	ヘッドホンを取り付けます
⑥ TREBLEボタン	高音を調節できます	⑬ 表示部	各種情報を表示します
⑦ 入力切替つまみ	回転させて入力切替をします DISC(CD) ⇄ USB ⇄ TUNER(FM) ⇄ BT(Bluetooth) ⇄ AUX ⇄ AUDIO IN ⇄ DISC(CD)	⑭ リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します
		⑮ CDトレイ	CDを載せます
		⑯ 真空管	通電時、光を放ちます
		⑰ サランネット	スピーカードライバーを保護します
		⑱ ウーファー	低音~中音の音を再生します
		⑲ ツイーター	高音の音を再生します

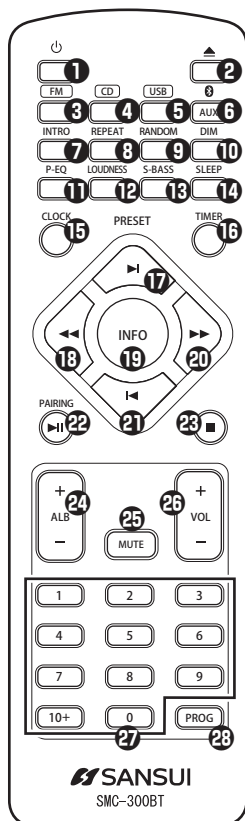
(本体上面)



裏面

名称	機能
裏面	
⑳ 電源端子	付属の電源コードを接続します
㉑ スピーカー出力端子	付属のスピーカーケーブルを使用してスピーカーに接続します
㉒ USB端子	USBメモリーを取り付けます
㉓ 外部入力端子	アナログ2チャンネルの音声信号を入力します(RCAステレオ)
㉔ FMアンテナ端子	付属のFMアンテナ線を接続します
㉕ スピーカー入力端子	付属のスピーカーケーブルを使用して本体に接続します
㉖ バスレフポート	スピーカー内部から増強された低音が出ます
㉗ NFC送受信部	NFC対応機器をここに近づけます

リモコン



名称	機能
リモコン	
① 電源ボタン	電源を入/切 (スタンバイ) します
② ▲ CDトレイ開閉ボタン	CDトレイを開閉します
③ FM FMボタン	FMモードにします (FMラジオを受信します)
④ CD CDボタン	CDモードにします (CDを再生します)
⑤ USB USBボタン	USBモードにします (接続したUSBメモリーから音声を再生します)
⑥ ⑧ AUX BT/AUXボタン	BTモード/AUXモード/AUDIO INモードにします (接続したBluetooth機器、裏面・前面外部入力接続した機器から音声を再生します)
⑦ INTRO INTROボタン	イントロモードを設定します
⑧ REPEAT リpeatボタン	リピートモードを設定します FM放送のステレオとモノラルを変更します
⑨ RANDOM ランダムボタン	ランダムモードを設定します
⑩ DIM DIMボタン	表示部の明るさを変更します
⑪ P-EQ P-EQボタン	音質を変更します POP → JAZZ → CLASSIC → ROCK → FLAT → POP
⑫ LOUDNESS LOUDNESSボタン	小音量時に押しすと高音と低音が増強されます
⑬ S-BASS S-BASSボタン	低音が強調されます
⑭ SLEEP スリープボタン	スリープタイマーを設定します
⑮ CLOCK クロックボタン	現在時刻を表示します 現在時刻の設定に使用します
⑯ TIMER タイマーボタン	オンタイマーを設定します
⑰⑲ ⏩ ⏪ スキップ+/-ボタン	1曲先に進めます/1曲前に戻ります 数値の増減にも使用します
⑱⑳ ⏪ ⏩ 早戻し/早送りボタン	曲を早戻します/曲を早送りします ラジオの選局にも使用します
⑲ INFO INFOボタン	表示部の情報を切り換えます
㉒ ⏮ ⏭ 再生/一時停止ボタン	再生または一時停止します BTモードでは長押しでペアリング解除します
㉓ ⏹ 停止ボタン	再生中の曲などを停止します
㉔ -ALB+ ALBボタン	MP3/WMA再生するときのフォルダー (アルバム) 変更に使用します
㉕ MUTE 消音ボタン	音量を一時的に0 (無音状態) にします。もう一度押しすと、元の音量に戻ります
㉖ -VOL+ 音量ボタン	音量を調節します
㉗ 1~0,10+ 数字ボタン	曲番号を入力します
㉘ PROG プログラムボタン	FMモードで放送局のプリセット、CD/USBでプログラム再生に使用します

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	スピーカーケーブル.....	2 本
スピーカー.....	2 個	FM アンテナ.....	1 本
リモコン.....	1 個	電源コード.....	1 本
ボタン形リチウム電池 (CR2025) (出荷時、リモコンに装着済).....	1 個	取扱説明書 (保証書含む).....	1 冊

スピーカーと電源コードの取り付け

1. 付属のスピーカーケーブルを本体裏面のスピーカー出力端子に接続する

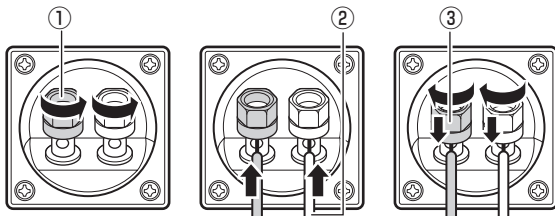
赤色を+、黒色を-にして右・左とも接続してください。

スピーカー端子を左に回してゆるめ、スピーカーケーブルの芯線部分(銅線)をスピーカー端子の根本部分の開いた穴に通します。スピーカー端子を右に回して締め、ケーブルの芯線部分がはさまれる(固定される)のを確認してください。

※ケーブルの芯線部分(銅線)が内部の金属部分に触れず、皮膜部分で固定されると、音声信号が流れず、音が鳴りません。

2. スピーカー裏面のスピーカー入力端子にスピーカーケーブルを接続する

本体裏面のスピーカー出力端子と同じチャンネル(右・左)であることを確認して接続してください。



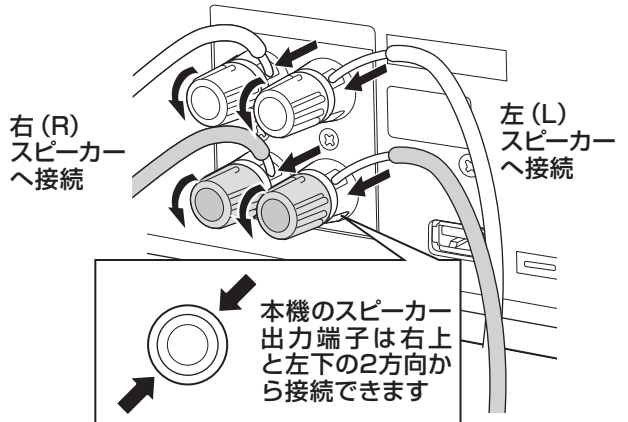
- ①スピーカー裏面にあるスピーカー入力端子のねじをゆるめて①、スピーカーケーブルの芯線部分(銅線)を穴に通します②。
- ③ そのまま押さえつけるようにスピーカー入力端子のねじを締めてください③。

※軽く引っ張ってみて、はずれないことを確認してください。

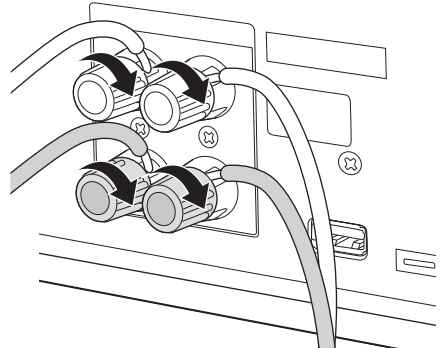
※ケーブルの芯線部分(銅線)が内部の金属部分に触れず、皮膜部分で固定されると、音声信号が流れず、音が鳴りません。

端子にスピーカーケーブルを接続します(上は赤・下は黒)

スピーカー端子をゆるめてスピーカーケーブルを接続する

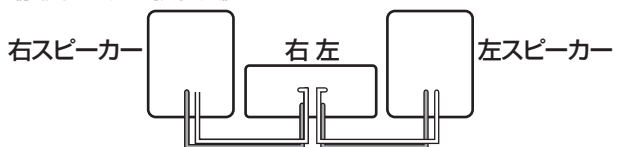


スピーカー端子を締めてスピーカーケーブルを固定する



付属のスピーカーケーブルの極性について
付属のスピーカーケーブルは赤みかかった(銅色)線を+(赤色の端子)、透明に近い白色(銀色)の線を-(黒色の端子)に接続してください。

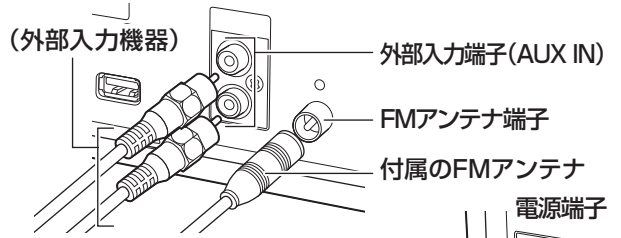
《裏面から見た接続図》



スピーカーケーブルの接続を間違えると故障の原因になります。

3. FMアンテナ端子に付属のFMアンテナを取り付け、受信状態が一番良い位置を探して、壁や柱に画びょうなどで貼り付ける

詳細は「FM ラジオを聴く」(→ 22 ページ)



⚠注意	FM アンテナは、子供の手の届く範囲に貼り付けない。 アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。
------------	---

4. 外部入力端子 (AUX IN) に外部入力機器を接続する

詳細は「外部入力を聴く」(→ 25 ページ)

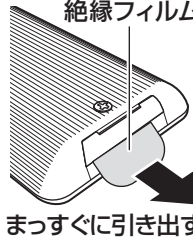
5. 本体の電源端子に付属の電源コードを取り付けて電源プラグをコンセントに差し込む

通電すると、本体の表示部に「---:---」が点滅表示されます。

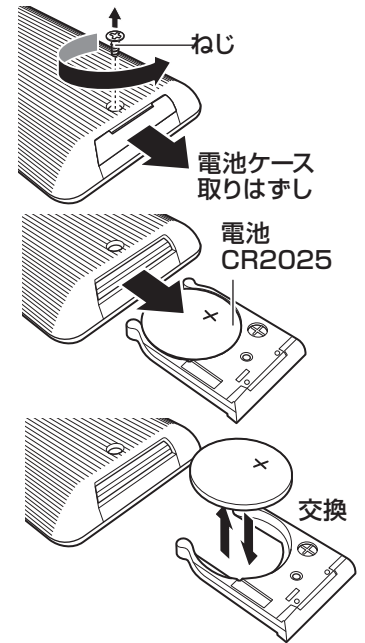
付属の電源コード

⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。 火災、事故などの原因になります。 ぬれた手で電源プラグを扱わない。 感電、火災、故障の原因になります。
------------	--

《使用開始するとき》
絶縁フィルム



《電池を交換するとき・取り出すとき》



リモコンの準備

リモコンには電池が装着済ですので、絶縁フィルムを引き出してご利用ください。

※ 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

リモコンの電池交換のしかた

ボタンを押しても動作しなかったり、動作が不安定なときには、新しい電池 (CR2025) を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

1. 電池ケースのねじをお持ちのドライバーで取りはずし、電池ケースを引き出す

※ 適切な大きさの + (プラス) ドライバーをご使用ください。

2. 古い電池を取り出し、電池の向き (⊕ ⊖) に注意して新しい電池を電池ケースに入れる

• 電池の ⊕ 側を上にして入れてください。

3. 電池ケースをリモコンに差し込み、電池ケースのねじを取り付ける

リモコン使用可能範囲

リモコンの操作は、リモコン受光部の正面から約 6 メートル、左右 30 度、上下 20 度の範囲でお使いください。

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

- リモコンと本機の間には障害物があるとき
- 直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- 赤外線を出す機器の近くで使用したとき

⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> • 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取りはずす。 • 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕ ⊖ を正しく入れる。 • 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。 • 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。 • 電池を子供が飲み込んだりしないように必ず電池ケースにねじを取り付ける。
------------	---

使用前の準備（つづき）

時計を合わせる

電源プラグをコンセントに接続すると、表示部に「—:—」が点滅表示されます。

以下の手順で時計を合わせてください。

- ・時刻を設定するとオンタイマー機能が使用できません（→26ページ）。

1. スタンバイ状態でリモコンの[CLOCK]クロックボタンを長押しする

表示部に「CLOCK SET」と表示されます。

2. リモコンの▶◀スキップ+／-ボタンで12時間（AM／PM）表示または24時間表示を選び、[CLOCK]クロックボタンを押す

12時間（AM／PM）表示 「CLOCK 12」

24時間表示 「CLOCK 24」

3. リモコンの▶◀スキップ+／-ボタンで「時」「分」を設定して[CLOCK]クロックボタンを押す

- ・本体の音量つまみ、リモコンの[-VOL+]音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
- ・「時」を設定後、[CLOCK]クロックボタンを押すと「分」を設定することができます。
- ・「分」を設定後、[CLOCK]クロックボタンを押すと設定時刻が確定し時計機能が開始します。

※ 設定をやめるときは[STOP]停止ボタンを押します。

※ 90 秒以上無操作状態がつづくとき時刻の設定がキャンセルされます。



注意 電源プラグをコンセントから抜くと、時間がリセットされます。再度設定が必要になります。

ふたつのスタンバイ状態

本機にはふたつのスタンバイ状態があります。

1. スタンバイ状態で本体またはリモコンの[POWER]電源ボタンを長押しする

スタンバイ状態が切り換わります。

・通常のスタンバイ状態

終了時に「BYE BYE」と表示されます。スタンバイ状態では常に時計を表示します。赤い電源ランプは消灯しています。

・エコパワー・スタンバイ状態

終了時に「ECOPOWER」と表示されます。スタンバイ状態では赤い電源ランプのみ点灯します。現在時刻は表示されません。

オートパワーオフ

本機は以下の状態で15分以上操作しないと自動的に電源をスタンバイ状態に切り換えます

- ・オートパワーオフ機能はCD、USBメモリー、AUX、AUDIO IN 入力使用時、Bluetooth 未接続時のみとなります。
- ・再生を停止したとき
- ・再生を一時停止しているとき
- ・ラジオ、Bluetooth 接続時については対応していません。
- ・外部入力端子や AUDIO IN 端子にスマートフォンなどの音量調節機能のある機器を接続する場合は音量を半分以上に上げてください。小音量の場合、オートパワーオフが正しく動作しません。

時計を確認する

エコパワー・スタンバイ状態では表示部には何も表示されていませんが、リモコンの[CLOCK]クロックボタンを押すことで現在時刻を見ることができます。

1. スタンバイ状態でリモコンの[CLOCK]クロックボタンを押す

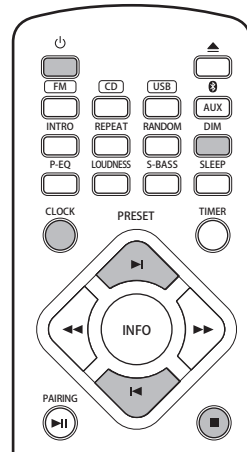
表示部に現在時刻が表示されます。

表示部の明るさを調節する

表示部が明るすぎるなど、お好みの明るさに表示を変えることができます。

1. リモコンの[DIM]DIMボタンを押す

[DIM] DIM ボタンを押すたびに表示部の明るさが変化します。3 段階で明るさを調節できます。



通常の操作

1. 本体またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れ、真空管の準備ができるまで約25秒待つ

電源が入ると、真空管には赤い光がとまり、表示部ではカウントダウンが始まります。カウントダウンが0になると、準備が完了し、まもなく操作ができるようになります。

2. 本体の音量つまみ、またはリモコンの(VOL+)音量ボタンで音量を調節する

入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。

- 音量が5以下で電源を入切すると、音量5に戻ります。音量が6以上のときは、設定した音量で出力されます。



電源投入直後、本機では既に音量が設定されているので、十分注意する。

3. 消音するときはリモコンの(MUTE)消音ボタンを押す

リモコンの(MUTE)消音ボタンを押すと音量0になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中は表示部に「MUTING」が点滅表示されます。
- 消音中に本体の音量つまみを回したり、リモコンの(VOL+)音量ボタンを押すと、消音は解除されます。

4. 本体の入力切換つまみ、またはリモコンの各入力ボタン(FM、CD、USB、AUX)でモードを切り換える

- 本体の入力切換つまみを回すと、DISC(CD) ⇄ USB ⇄ TUNER(FM) ⇄ BT(Bluetooth) ⇄ AUX ⇄ AUDIO IN ⇄ DISC(CD)...とモードが切り換わります。
- 接続している機器によって、モードの切り換えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります(USBモードなど)。

カウントダウン表示

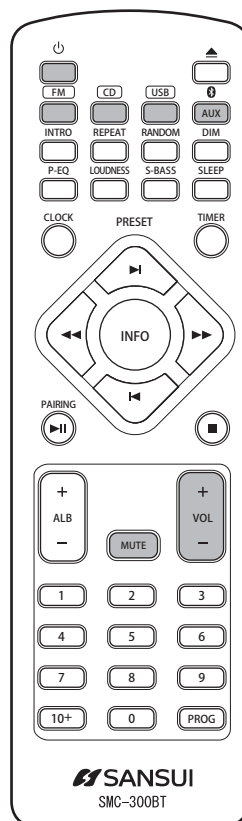
PREHEAT

9

)

0

“準備完了”



正しい使いかた(つづき)

通常の操作(つづき)

5. 本体・リモコンの各音質調節ボタンを押して好みの音質に調節する

リモコンの **(P-EQ)** P-EQ ボタンで好みの音質に切り換える

お好みの音質でお楽しみいただける、5 パターンのイコライザー機能が内蔵されています。

・リモコンの **(P-EQ)** P-EQ ボタンを押すたびに、ポップス(POP)→ ジャズ(JAZZ)→ クラシック(CLASSIC)→ ロック(ROCK)→ フラット(FLAT)→ ポップス(POP)と音質が切り換わります。

リモコンの **(LOUDNESS)** LOUDNESS ボタンで小さい音でも高音・低音を増強した音にする

小音量時は、高音・低音が貧弱な音になってしまいます。**(LOUDNESS)** LOUDNESS (ラウドネス) ボタンを押すと、「LOUD ON」と表示され、高音・低音が増強されます。もう一度押すと、「LOUD OFF」で解除できます。

※イコライザー機能(P-EQ)やS-BASS機能と併用できません。

リモコンの **(S-BASS)** S-BASS ボタンで低音を増強した音にする

(S-BASS) S-BASS (スーパーバス) ボタンを押すと、「DBB ON」と表示され、低音が強調されます。もう一度押すと、「DBB OFF」で解除できます。※イコライザー機能(P-EQ)やラウドネス機能と併用できません。

本体の **(BASS)** BASS ボタンと **(TREBLE)** TREBLE ボタンで低音(BASS)と高音(TREBLE)の音質調節をする

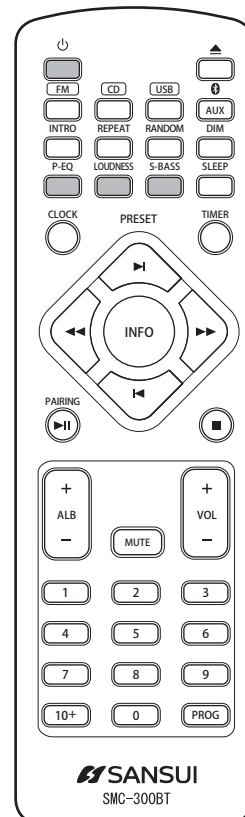
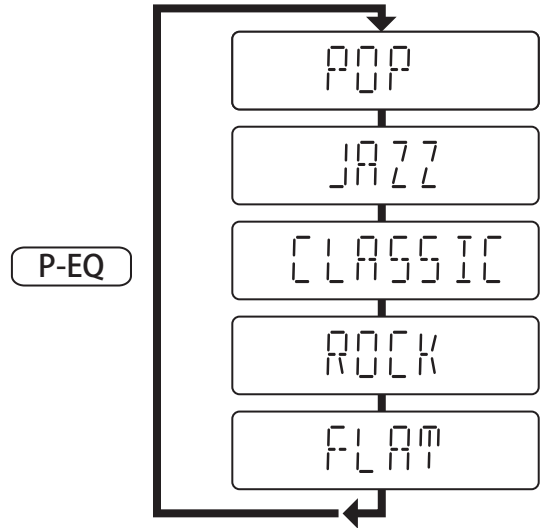
(BASS) BASS ボタンを押すと「BASS ○○」と表示されます。

表示中に本体の音量つまみで +5 ~ -5 の範囲で調節できます。[BASS] 表示中のみ変更ができます。

(TREBLE) TREBLE ボタンも同じ方法で変更します。※イコライザー機能(P-EQ)やラウドネス機能、S-BASS機能と併用できません。

6. 聴き終わったら、本体またはリモコンの電源ボタンを押してスタンバイ状態にする

・スタンバイ状態では Bluetooth の接続は切断されます。



7. 長期間使用しないときは本体の電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

- CD、USB メモリーなど装着したままにしないでください。



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

ヘッドホンを使う

1. 本体の音量つまみ、またはリモコンの **[-VOL+]** 音量ボタンで音量を最小にする
2. 本体前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続する
 - ヘッドホン端子に接続するとスピーカーから音が出なくなります。
接続したヘッドホンを取りはずすと音が出るようになります。
3. 本体の音量つまみ、またはリモコンの **[-VOL+]** 音量ボタンで適切な音量に調節する



注意

ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。
聴力に悪影響をおよぼすことがあります。

正しい使いかた (つづき)

CD を聴く

通常再生をする

1. 本体の入力切替つまみ、またはリモコンの **CD** ボタンでCDモードに切り換える

表示部に「DISC」が表示されます。

2. 本体またはリモコンの **▲CD** トレイ開閉ボタンを押してCDトレイを開け、CDを載せる

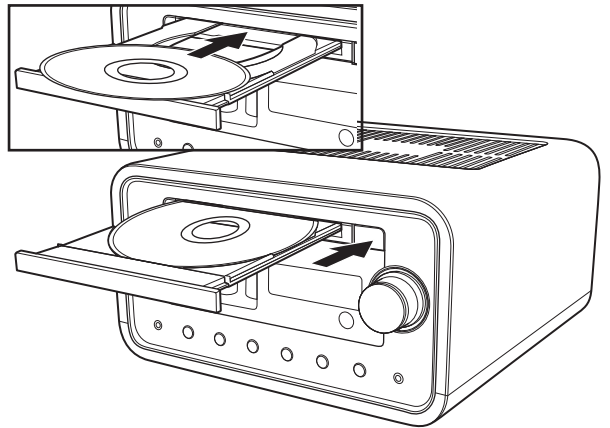
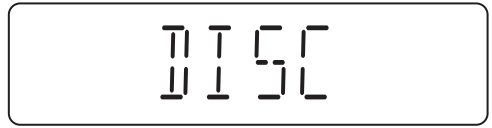
CDトレイを開くと、「OPEN」表示が出ます。ラベル面を上にしてトレイに載せてください。

- CDトレイまたはCDの損傷や故障を避けるために、必ずCDトレイの中央に正しく載せてください。

8cm CDの場合はトレイ内側の凹みに合わせて載せてください。

- トレイはCDを載せる部分すべてが出てくるわけではなく、本体側2割程度本体内に隠れるようになります。

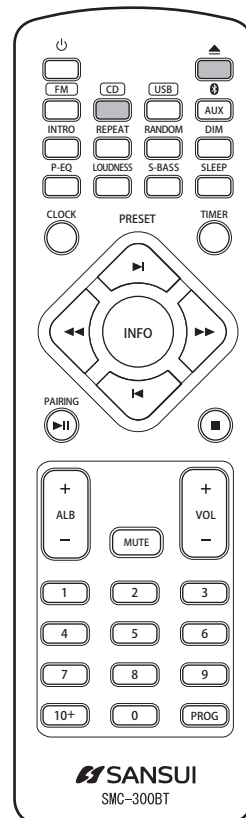
※「CDについて」(→5ページ)もご覧ください。



- CDトレイに指やものなどをはさまないように注意する。
- CDトレイの開閉は、必ず本体またはリモコンの **▲CD** トレイ開閉ボタンで行なう。破損の原因となります。
- 音楽CD、MP3/WMA CD以外入れない。
データCDやDVDなどを入れると、異音が発生することがあり、スピーカーや耳を痛め、故障の原因になります。

3. 本体またはリモコンの **▲CD** トレイ開閉ボタンを押してCDトレイを閉める

CDトレイを閉めると「READING」表示が出て、CDの読み込みを始めます。




4. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する



曲番号 1 から演奏が開始（再生）されます。

- 表示部に曲番号と経過時間が表示されます。



曲を進める スキップ+ボタン

- 再生中に  スキップ+ボタンを 1 回押しごとに次の曲に進みます。
- 最後の曲の次は、最初の曲に戻ります。



曲を早送りする 早送りボタン

- 再生中に  早送りボタンを長押しすると聴いている曲が早送りされます。
-  早送りボタンを離すと通常再生に戻ります。



曲を戻す スキップ-ボタン

- 再生中に  スキップ-ボタンを 1 回押すと曲の最初に戻ります（再生開始直後は除く）。
-  スキップ-ボタンを 1 回押しごとに 1 曲戻ります。



曲を早戻しする 早戻しボタン

- 再生中に  早戻しボタンを長押しすると聴いている曲が早戻しされます。
-  早戻しボタンを離すと通常再生に戻ります。


一時停止する 再生 / 一時停止ボタン

- 再生中に  再生 / 一時停止ボタンを押すと演奏が一時停止します。
- もう一度  再生 / 一時停止ボタンを押すと演奏が再開します。

停止する 停止ボタン


- 再生中に  停止ボタンを押すと演奏が停止します。停止したあとに  再生 / 一時停止ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。

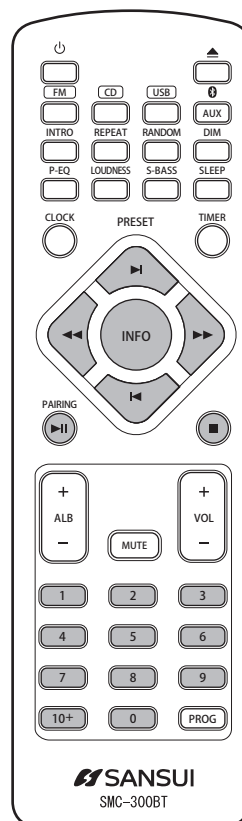
曲を直接選曲する 数字ボタン

-  数字ボタンを押すとその番号の曲（CD の「トラック」）が演奏（再生）されます。
- 押した数字の曲が実際にはないときは入力することはできません。

※「インデックス（トラックのハイフン以下）」を指定することはできません。

表示を切り換える INFOボタン

-  INFOボタンを押すたびに表示部の時間表示が、現在再生されている曲の経過時間→曲の残り時間→CDの経過時間→CDの残り時間→曲の経過時間と切り換わります。



正しい使いかた（つづき）

CD を聴く（つづき）

特殊再生をする

リピートモード

1 曲繰り返し・全曲繰り返し

本機では繰り返し再生ができます。

• CDとMP3/WMAファイル、USBで使用できます。

1. 再生中または停止中に、リモコンの **(REPEAT)** リピートボタンを押す

表示部に「REP ONE」が表示されます。

(REPEAT) リピートボタンを押すたびにリピートモードが切り換わります。

2. 繰り返し再生をやめるには、**(REPEAT)** リピートボタンを何度か押して「REP OFF」表示させる

イントロモード

曲の冒頭約 10 秒ごとを順に再生し、気に入った曲から再生させるイントロモードが使用できます。

• CDとMP3/WMAファイル、USBで使用できます。

1. 再生中または停止中に、リモコンの **(INTRO)** INTROボタンを押す

表示部に「INT ON」が表示されます。

(INTRO) INTRO ボタンを押すたびにイントロモードが入切します。

• 最初の曲から曲の冒頭約 10 秒ずつ再生を始めます。

• 最後の曲まで再生すると停止します。

2. 聴いている曲をそのまま聴くときは、**(INTRO)** INTROボタンまたは**(PAUSE)** 再生／一時停止ボタンを押す

表示部に「INT OFF」が表示されます。

(REPEAT) リピートボタンを押すたびに	表示部の表示
1 曲繰り返し再生	REP ONE
フォルダー繰り返し再生 (MP3/WMA)	REP ALB
全曲繰り返し再生	REP ALL
繰り返し再生をやめる	REP OFF

ランダムモード

曲をランダムに再生させることができます。

• CDとMP3/WMAファイル、USBで使用できます。

1. 再生中または停止中に、リモコンの **(RANDOM)** ランダムボタンを押す

表示部に「SHUF ON」が表示されます。

(RANDOM) ランダムボタンを押すたびにランダムモードが入切します。

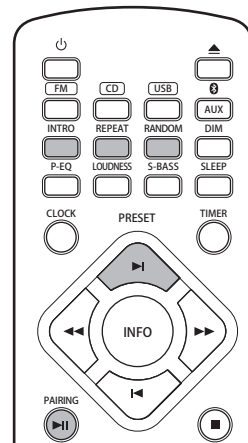
同じ CD、USB からランダムに再生を始めます。

• ランダム再生中に、**(SKIP+)** スキップ+ ボタンを押すと、次の曲をランダムに選曲して再生します。

2. ランダムモードをやめるときは、**(RANDOM)** ランダムボタンを押す

表示部に「SHUF OFF」が表示されます。

※ 現在再生されている曲の次は、通常再生時の次の曲が再生されます。



PROGRAM(プログラム)機能・ 曲の順番を決めて聴く

本機では、CDに記録されたMP3/WMAファイル、CD、USBに記録されたMP3/WMAファイルから、好みの順番で再生させることができます。

※プログラム：お好みの曲目・曲の順番

1. 本体の入力切換つまみ、またはリモコンの **CD** CDボタンでCDモードに切り換える

USBでもプログラム機能を使うことができます。

・CDとUSBの曲を混在させることはできません。

2. 自動で再生が開始されるため、**STOP** 停止ボタンで再生を停止させ、**PROG** プログラムボタンを押す



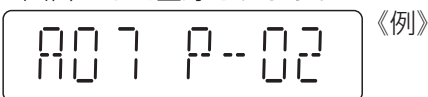
・再生中に**PROG**プログラムボタンを押すと、「STOP FIRST」と表示されます。

3. MP3/WMAファイルのときは**ALB+** ALBボタンでフォルダーを選択する



4. **SKIP+/-** ボタンまたは**1~0,10+** 数字ボタンで再生する曲を選び**PROG** プログラムボタンを押す

1曲目として登録されます。



5. 順に選曲して**PROG** プログラムボタンを押すことを繰り返す

PROGプログラムボタンを押すことで曲が登録されます。

- ・最大20曲まで登録することができます。21曲目を登録しようとする、「PRG FULL」表示が出て、そのままプログラム再生が始まります。
- ・途中の曲の変更などすることができません。

6. **REPEAT** 再生／一時停止ボタンを押す

プログラム再生が始まります。

プログラム再生中は通常の曲のように早送り・早戻し、次の曲、前の曲、一時停止と自由に操作することができます。

・プログラム再生が終了すると停止状態になります。

再度プログラム再生するには、停止状態で**REPEAT**再生／一時停止ボタンを押してください。

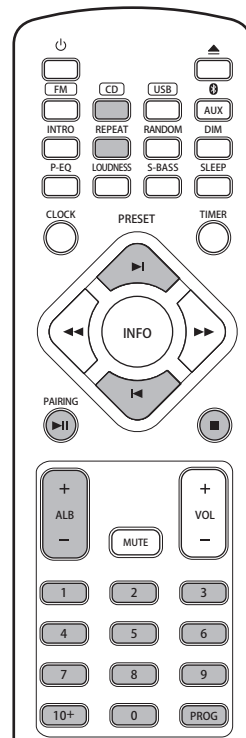
7. リモコンの**REPEAT** リピートボタンを押してプログラムの再生モードを選択する

REPEATリピートボタンで作成したプログラムを繰り返し再生、もしくは1曲繰り返し再生させることができます。

プログラムの消去

停止中に再度**STOP**停止ボタンを押すと、「PRG CLR」と表示され、プログラムが消去されます。

※CD(USB)モードから他のモードへの切換、電源ボタンを押す、▲ディスクの取り出しなどの操作、USBメモリの取りはずしをしてもプログラムは消去されません。



正しい使いかた (つづき)

CD を聴く (つづき)

CDのMP3/WMAファイルを聴く

本機では、CDに記録されたMP3/WMA ファイルを再生することができます。

音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

1. 音楽CDの再生と同様に、本体の入力切換つまみ、またはリモコンの **CD** ボタンでCDモードに切り換え、CDトレイを開けてCDをトレイに載せる
2. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

表示部には曲番号と経過時間が表示され、曲が切り換わるときにこれから再生する曲のフォルダー番号と曲番号が表示されます。



- リモコンの(-ALB+) ALB ボタンで曲の入っているフォルダー (アルバム) を選択することができます。
- 停止ボタンで演奏を停止させると、次に 再生 / 一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。
- INFOボタンを押すたびに、MP3/WMAファイルのタグ情報(曲名・アーティスト名・アルバム名)が表示され、切り換わります。(英数字のみ、日本語などは正しく表示されません)。

MP3/WMA ファイルの再生順番について

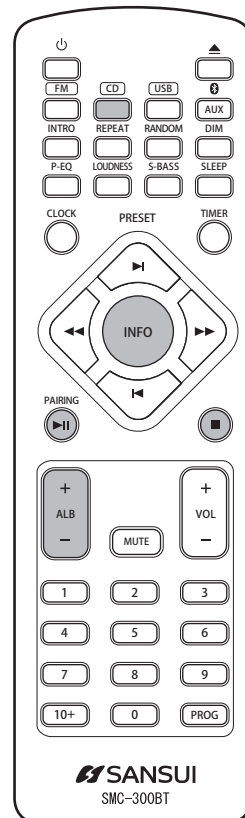
- 複数のフォルダーにMP3/WMAファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。
- 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

※「CD(MP3/WMA) USB メモリーについて」(→4ページ)、「CDについて」(→5ページ)もお読みください。



注意

ファイルに適切な拡張子 (MP3 は [.mp3]、WMA は [.wma]) を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音が発生する恐れがあります。



USBメモリーのMP3 / WMA を聴く

本機では、USBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

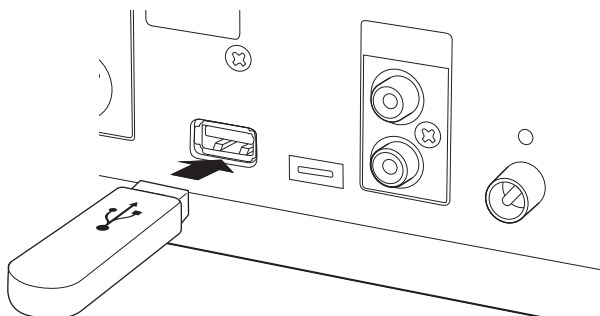
1. USB端子にUSBメモリーを接続する
2. 本体の入力切換つまみ、またはリモコンの **USB** ボタンでUSBモードに切り換える

表示部に「USB」が表示されます。

3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

リモコンの操作ボタンを使用して、CD同様の操作をすることができます。

- リモコンの **ALB** ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。
- **停止ボタン**で演奏を停止させると、次に **再生／一時停止ボタン**を押したとき、最初の曲から再生が始まります。総曲数が多いと、曲を探すのに時間がかかるため、慎重に操作してください。
- **INFO** ボタンを押すたびに、MP3/WMAファイルのタグ情報（曲名・アーティスト名・アルバム名）が表示され、切り換わります（英数字のみ、日本語などは正しく表示されません）。



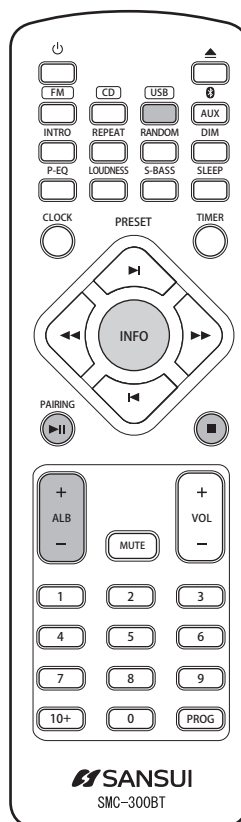
注意

- ファイルに適切な拡張子（MP3は [.mp3]、WMAは [.wma]）を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- USBメモリーの抜き差しをするときには、（金属にさわるなどして）体の静電気をなくしておく。空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。

本機のUSB端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます

出力：5V / 1A

充電をする場合は、充電される機器の電圧／電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。



正しい使いかた（つづき）

Bluetooth® 機器を聴く

Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
- ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
- 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。

本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth機器との初めての接続

1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる

Bluetooth 接続モードにしておきます。

2. 本体の入力切替つまみ、またはリモコンの **AUX** BT/AUX ボタンで BT モードに切り換える

表示部に「BT」が点滅表示されます。



《例》

3. 接続するBluetooth機器のサーチ機能を利用して、本機の製品名「SMC-300BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器の表示部に「SMC-300BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

※ PINコードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

4. 接続が成功すると信号音が鳴り、表示部に「BT」が点灯表示される

5. 接続がうまくいかないときは、本体またはリモコンの **再生/一時停止** ボタン（ペアリングボタン）を長押しする

「BT CLEAR」と表示されます。もう一度最初から接続しなおしてください。



注意

本機はSCMS-Tに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

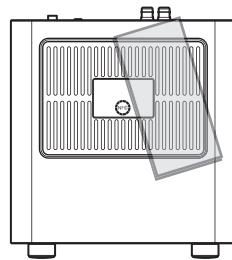
Bluetooth 機器との 2 回目以降の接続

ペアリングをした Bluetooth 機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth 機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

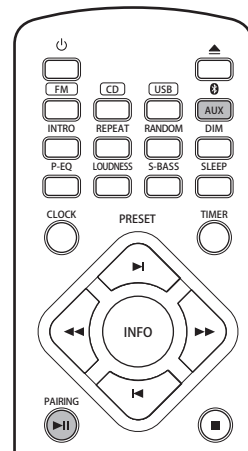
※ 接続する Bluetooth 機器によっては、自動的に接続されないことがありますが、本機の故障ではありません。

NFC 機能を使用しての接続

NFC 機能に対応した Bluetooth 機器を本機にかざすだけで簡単にペアリングできます。



本機を BT モードにして、NFC 対応 Bluetooth 機器は NFC モードを「入」にして本体上部にかざす（タッチ・ゆっくり動かすなど）と、ペアリングされます。



別の Bluetooth 機器との接続

別の接続機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に 1 台の端末しか接続できません。

1. 接続していた外部機器の Bluetooth 機能をオフにする

- 外部機器に表示されている、本機の製品名「SMC-300BT」の登録を解除します。

2. 別の外部機器と「Bluetooth 機器との初めての接続」を行なう

3. 接続できないときは、本体またはリモコンの再生／一時停止ボタン(ペアリングボタン)を長押しして、「Bluetooth 機器との初めての接続」を行なう

- ※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth 機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく

2. 本機と Bluetooth 機器が接続していることを確かめる

Bluetooth 接続されているときは、表示部に「BT」が点灯表示されます。

未接続のときは「BT」が点滅表示されます。




- ※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

3. 本機に接続した Bluetooth 機器で再生を始める

本機のリモコンまたは本体の操作部で Bluetooth 機器のコントロールができます。

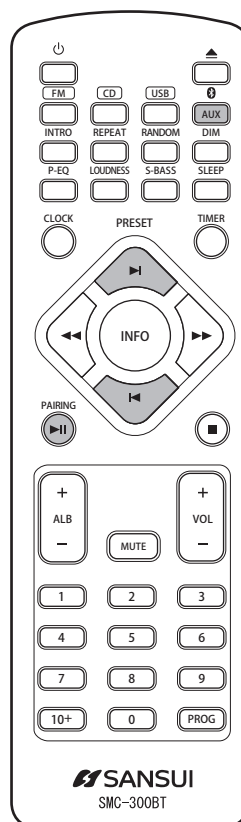
- ※ 接続した Bluetooth 機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できる Bluetooth 機器の機能

-  再生／一時停止
-  スキップ-
-  スキップ+

このコントロールする機能は、Bluetooth の AVRCP プロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

- ※ お使いの Bluetooth 機器によっては正しく操作できない場合があります。



正しい使いかた (つづき)

FM ラジオを聴く

FM ラジオを聴く

本機は FM ラジオ放送を聴くことができます。76 ~ 108MHz の受信ができ、FM 補完放送 (ワイドFM) に対応しています。受信状態が悪いときは、本体に取り付けた FM アンテナの向きなどを調節してください。

1. 本体の入力切換つまみ、またはリモコンの **FM** FM ボタンで FM モードに切り換える

表示部に「TUNER」が表示されます。放送局がプリセットされていないときは表示部に「AUTO INSTALL」が表示され、▶再生/一時停止ボタンを押すと自動プリセットが開始されます。自動プリセットを行なわない場合は■停止ボタンを押してください。

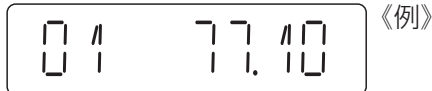
※「AUTO INSTALL」表示中に無操作状態が 45 秒以上続くと通常の受信画面が表示されます。

2. 《自動プリセット2回目以降》リモコンの **PROG** プログラムボタンを長押しする

表示部に「AUTO」と表示され、自動プリセットが開始します。

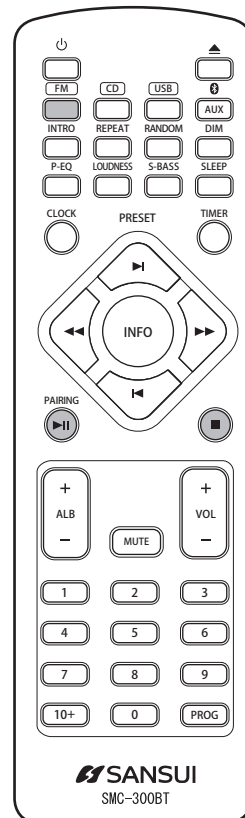
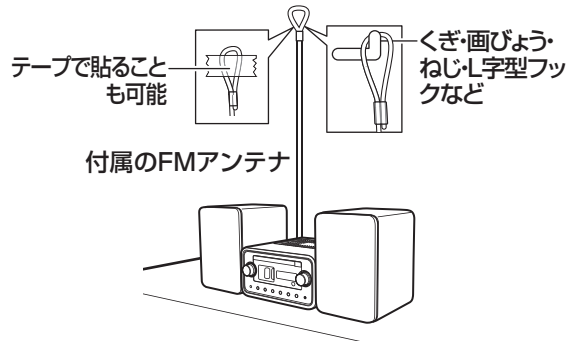


自動プリセットが終了すると、表示部に「COMPLETE」と表示され、プリセット番号01の放送局が選局されます。



プリセットをするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態で自動プリセットするようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。



- ・自動プリセット中は、他の操作はできません。
自動プリセット終了まで操作するのはお待ちください。

3. プリセットされた局を聴くときは、本体またはリモコンの スキップ+/- ボタンでプリセット局を選局する


4. 自動選局または手動選局で聴きたい放送局を受信する

《自動選局》

本体の  ボタンまたは  ボタン、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを長押しする。

- ・自動選局が始まったら指を離してください。
- ・放送局を受信すると自動的に止まります。

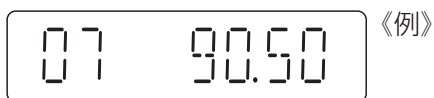
《手動選局》


本体の  ボタンまたは  ボタン、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを短く押す。

- ・ボタンを押すたびに 0.1MHz ずつ周波数が変わります。





※電波が弱く、自動選局が自動で止まらないときは手動選局を行なってください。

5. 《手動プリセット》プリセットしたい放送局を選局したあと、リモコンの プログラムボタンを押す



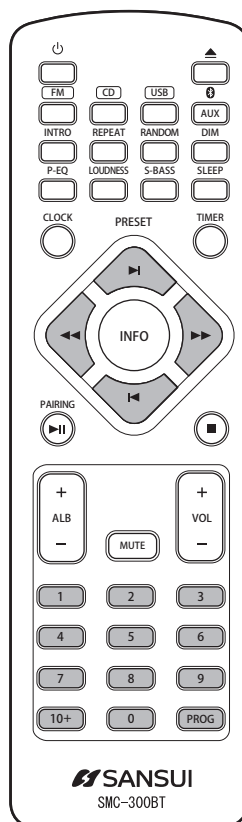
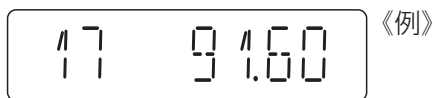
 プログラムボタンを押すと、プリセット可能な、空き番号（プリセット番号）が点滅します。

6. 左の2ケタ数字（プリセット番号）点滅中にそのままリモコンの プログラムボタンを押す

表示された空き番号以外にも、 数字ボタンまたは  スキップ+ボタン、 スキップ-ボタンを使って任意のプリセット番号を指定することができます。プリセット番号を指定したら、点滅中にリモコンの  プログラムボタンを押してください。指定したプリセット番号に放送局が登録されます。

※既に登録されているプリセット番号を指定したときは上書きされて新しく設定した放送局になります。

プリセットは最大 20 局まで可能です。




正しい使いかた (つづき)

FM ラジオを聴く (つづき)

周波数の刻み設定

日本のFM放送は0.1MHz(100kHz)刻みで周波数が設定されていますが、近い周波数の局が混信するようになると、あえて50kHzずらすことによって、聴きやすくなる場合があります。

- FM (TUNER) モードで 再生ボタンを長押しするたびに周波数の刻み設定が切り換わります。
0.1MHz 刻み 「GRID100K」…… 100kHz
0.05MHz 刻み 「GRID 50K」…… 50kHz
- 刻み設定を変更すると、それまで設定していたプリセットなどすべて消去されますのでご注意ください。

ステレオ・モノラル受信切り換え

FM ステレオ放送が聴き取りにくいとき、モノラル受信に切り換えると聴き取りやすくなる場合があります。

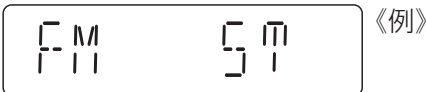
1. リモコンの^{REPEAT}リピートボタンを押してステレオからモノラルに切り換える

「FM MONO」と表示したあと、通常の表示に戻ります。



2. リモコンの^{REPEAT}リピートボタンを押してモノラルからステレオに切り換える

「FM ST」と表示したあと、通常の表示に戻ります。



外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音を出すことができます。

本機には2つの外部入力端子があります。

- ・本体裏面の外部入力端子（RCAピンプラグ）
- ・本体前面のAUDIO IN端子（φ3.5mmステレオミニプラグ）

外部入力端子を使う

1. 本体裏面の外部入力端子に外部機器を接続する

- ・接続コードは付属されていません。接続する外部機器に合った市販品をご使用ください。
- ・本機の外部入力端子はRCAピンプラグです。

2. 本体の入力切替つまみ、またはリモコンの **AUX** BT/AUX ボタンでAUXモードに切り換える

表示部に「AUX」が表示されます。

3. 外部機器を再生状態にする

4. 本体の音量つまみまたはリモコンの **VOL** 音量ボタンで音量を調節する

AUDIO IN 端子を使う

1. 本体前面のAUDIO IN端子に外部機器を接続する

- ・接続コードは付属されていません。接続する外部機器に合った市販品をご使用ください。
- ・本機のAUDIO IN端子はφ3.5mmステレオミニプラグです。

2. 本体の入力切替つまみ、またはリモコンの **AUX** BT/AUX ボタンでAUDIO INモードに切り換える

表示部に「AUDIO IN」が表示されます。

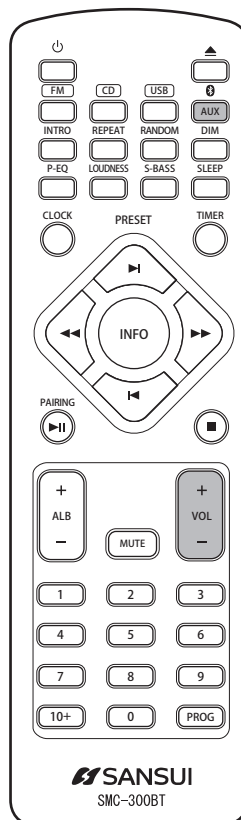
3. 外部機器を再生状態にする

4. 本体の音量つまみ、またはリモコンの **VOL** 音量ボタンで音量を調節する



⚠ 注意

- ・レコードプレーヤーを取り付けるときは、フォノイコライザー出力対応の機器を接続するか、フォノアンプを介して接続する。
本機はフォノ出力に対応していません。
- ・外部機器の音量を調節できる機種では、適切な音量に設定の上使用する。
他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。



⚠ 注意

機器の接続・取りはずしのときは必ず音量を最小にする。
リモコンの **MUTE** 消音ボタンは使用しないでください。

便利な使いかた

本機は、内蔵時計を利用して便利に使うことができます。

スリープタイマーを使う

設定した時間後に電源を切る（スタンバイ状態）ことができます。

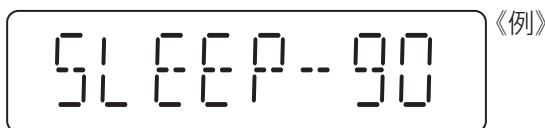
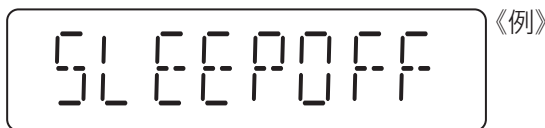
1. リモコンの **(SLEEP)** スリープボタンを押してスリープタイマーを設定する

表示部に「SLEEPOFF」が表示され、**(SLEEP)**スリープボタンを押すたびに「SLEEP」の右側がOFF → 120 → 90 → 60 → 45 → 30 → 15 → OFF（単位は分）と切り換わります。設定した時間後に電源が切れます。

2. 再度設定するとき、キャンセルするときは、リモコンの **(SLEEP)** スリープボタンを押して「SLEEP」の右側の数値を変更する

(SLEEP)スリープボタンを押して、数値を設定しなおします。

- ・スリープタイマーをキャンセルするとき、OFF に設定します。



オンタイマーを使う

設定した時間に自動で電源を入れて、設定したモード（TUNER(FM)/DISC(CD)/USB）の音を設定した音量で再生することができます。

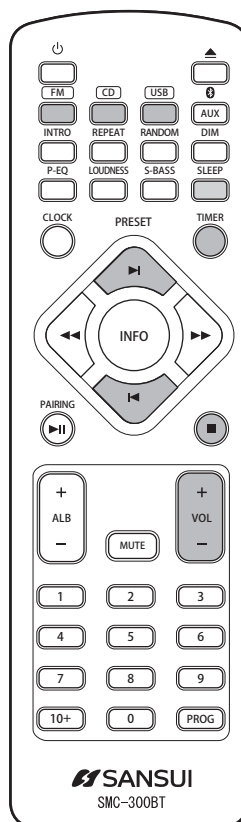
- ・表示部に何も表示されていないエコパワースタンバイ状態のままではオンタイマーは設定できません。リモコンの、**(CLOCK)**クロックボタンを押して、表示部に時計表示をさせて、オンタイマー設定をしてください。

オンタイマーを使う前に…

- ・時計を合わせてください(→10ページ)。
- ・再生する音源（FM ラジオ、CD、USB メモリー）を準備してください。

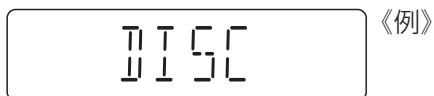
1. スタンバイ状態でリモコンの **(TIMER)** タイマーボタンを長押ししてオンタイマーを設定する

「TIMER SET」と表示されます。



2. 本体の入力切換つまみ、またはリモコンの各入力ボタン(FM、CD、USB)で、再生するモードを選び、タイマーボタンを押す

BT、AUX、AUDIO IN は設定できません。



TUNER (FM) に設定したとき

- 最後に選局した FM 局の音声が流れます。

DISC (CD) に設定したとき

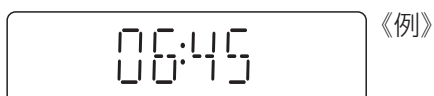
- CD トレイに入れているディスクの最初の曲から再生されます。MP3/WMA が記録された CD でも同様で、最初に再生される曲から再生されます。

USB に設定したとき

- CD 同様、USB メモリーを接続して最初に再生される曲から再生されます。

※DISC(CD)またはUSBに設定したとき、ディスクやUSBメモリーが再生できない場合はFMの音声が流れます。

3. リモコンの(▶) (◀)スキップ+ / - ボタンでオンタイマーの「時」「分」を設定して、(TIMER)タイマーボタンを押す

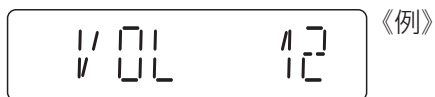


- 本体の音量つまみ、リモコンの(VOL+)音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
 - 「時」を設定後、(TIMER)タイマーボタンを押すと「分」を設定することができます。
 - 「分」を設定後、(TIMER)タイマーボタンを押すと「音量」を設定することができます。
- ※設定をやめるときは(■)停止ボタンを押す、または90秒以上そのままにしておきます。

4. リモコンの(▶) (◀)スキップ+ / - ボタンで再生したい音量を設定して、(TIMER)タイマーボタンを押す

- 本体の音量つまみ、リモコンの(VOL+)音量ボタンでも数値の増減をすることができます。

- オンタイマーが実行されたとき音量は設定した音量まで徐々に大きくなります。



(TIMER)タイマーボタンを押して、表示部に現在時刻が表示されたら、設定完了です。

※オンタイマーを設定すると、毎日同じ内容で動作します。

オンタイマーの入切

1. スタンバイ状態でリモコンの(TIMER)タイマーボタンを押す

(TIMER)タイマーボタンを押すたびにオンタイマーが入切します。

- オンタイマー設定時は電源ランプが点滅します。
- オンタイマー設定がされた状態でタイマーオフとした場合は、スタンバイ状態で現在時刻表示と電源ランプが点灯します。
- タイマー設定をリセットしたい場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その際はラジオのプリセット局、現在時刻はリセットされます。

2. オンタイマーを無効(オフ)にするには、(TIMER)タイマーボタンをもう一度押す

スタンバイ状態で(TIMER)タイマーボタンを押して、表示部に「TIMER OFF」と表示させます。



注意

- オンタイマーの音量調節は慎重に行なう。
- 設定する再生するモードに気をつけろ。

お手入れのしかた



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

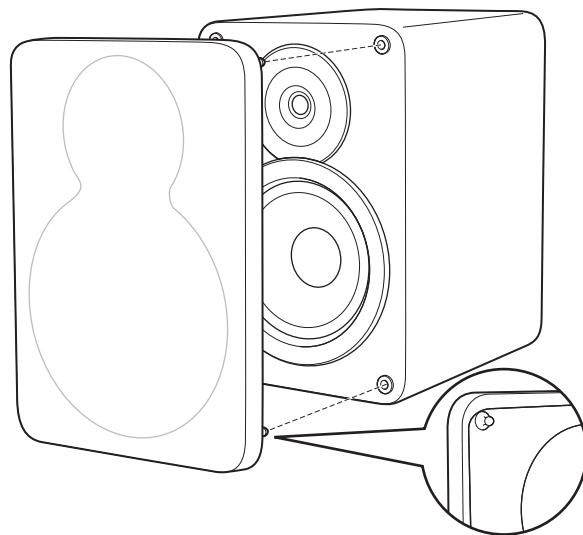
本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。キズつきの原因となることがあります。)

スピーカーのお手入れ

スピーカーの汚れは、カメラのレンズ清掃用のブロワーブラシなどを使い、軽くブラシ部分でホコリをはらってください。

※本機のスピーカーの前面(サランネット)は、取りはずすことができます。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードがはずれている 	電源コードを本体の電源端子に、電源プラグをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 消音状態になっている 	リモコンの(MUTE)消音ボタンで消音を解除する
	<ul style="list-style-type: none"> 入力切替が目的のモードに設定されていない 	本体の入力切替つまみまたはリモコンボタンで目的のモードに切り換える(「AUX」「AUDIO IN」の違いに注意する)
	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーケーブルが正しく接続されていない 	正しく接続する(スピーカーケーブルの芯線(導線)部分と被膜部分に注意する)
	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されている 	ヘッドホンを取りはずす
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない 4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している(4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります) 	ミニプラグを奥まできちんと差し込む 3極のステレオミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなど使用してみる
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 近くで電波など発する機器(携帯電話など)を使用している 	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能 	本機では停止状態または一時停止状態で15分以上操作しないと電源が自動でオフになります(10ページ)
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している 	新しい電池に交換する
	<ul style="list-style-type: none"> 操作する距離が遠い 	リモコン使用可能範囲はリモコン受光部から約6mです

CD部

演奏が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> CDトレイが閉じられていない 	CDトレイを閉じる
	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しにセットされている 	ラベル面を上にしてセットする
	<ul style="list-style-type: none"> CDの汚れがひどい 	クリーニングをする
	<ul style="list-style-type: none"> CD-R/RWがファイナライズされていない 	ファイナライズを実行する*
	<ul style="list-style-type: none"> CDが著作権保護技術でエンコードされている 	ディスクによっては再生できない
	<ul style="list-style-type: none"> 結露状態になっている 	露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる
音がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> 振動がある 	振動のない場所に置く
	<ul style="list-style-type: none"> CDに大きなキズがある 	CDを修復する
MP3/WMAを読み取らない	<ul style="list-style-type: none"> フォーマットが違う 	ISO9660でフォーマットして書き込む
	<ul style="list-style-type: none"> 書き込んだセッションが違う 	MP3/WMAのCDは1度にすべてを書き込む(マルチセッションに対応しません)
	<ul style="list-style-type: none"> 拡張子「.mp3」「.wma」が付いていない 	拡張子「.mp3」「.wma」を付ける

* ファイナライズの方法については、ご使用の録音機器の取扱説明書をご覧ください(本機ではファイナライズできません)。

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
曲が繰り返し再生される	・リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
曲の最初だけ再生されて次の曲に移る	・イントロモードがオンになっている	イントロモードをオフにする
曲が収録されている順番通りに再生されない	・プログラムが設定されている	プログラムを消去する
	・ランダムモードがオンになっている	ランダムモードをオフにする
USB 部		
USBメモリーを認識しない	・USBメモリーがFAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている	USBメモリーをFAT32でフォーマットしなおす
	・USBハブなど介して接続している	本体に直接接続する
	・HDDを接続している	USBメモリーを使用してください
曲が繰り返し再生される	・リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
曲の最初だけ再生されて次の曲に移る	・イントロモードがオンになっている	イントロモードをオフにする
曲が収録されている順番通りに再生されない	・プログラムが設定されている	プログラムを消去する
	・ランダムモードがオンになっている	ランダムモードをオフにする
FM ラジオ部		
雑音が入る	・テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	・電波状態が悪い	窓際などで試してみる
	・アンテナが正しく接続されていない	正しく接続する
外部入力部		
音が小さい	・レコードプレーヤーをつなげている（フォノ端子）	フォノアンプを介して接続する
	・接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量を上げる
Bluetooth 部		
音が出ない	・Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
	・無線 LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	・正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	・SCMS-T の送信	本機は SCMS-T に対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	・Bluetooth の通信遅延	状態によって Bluetooth では若干遅れることがあり、必ず映像と音声を一致させるには外部入力端子に音声を接続する
ペアリングできない	・Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけてペアリングする
	・Bluetooth 機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	・先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する
NFC 接続できない	・Bluetooth 機器の NFC 機能が無効になっている	Bluetooth機器のNFC機能を有効にする

主な仕様

仕 様

アンプ部

定格出力 (RMS・THD10%)	30W + 30W
-------------------	-----------

CD部

再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA、MP3、WMA

USB部

バージョン (端子)	USB2.0 マスストレージクラス (タイプ A)
使用可能容量	32GB 以下
ファイルシステム	FAT32
電源出力	5V / 1.0A
再生可能フォーマット	MP3、WMA (拡張子 .mp3、.MP3、.wma、.WMA)
最大読み込みファイル数	99
最大読み込みフォルダー数	99

チューナー (FM ラジオ) 部

形式	PLL オートスキャン
受信バンド	FM
FM 受信周波数	76 ~ 108MHz (ステレオ放送対応)

スピーカー部

タイプ	2WAY バスレフタイプ
ドライバー	11cmウーファー、3.8cmドームツイーター
コーン紙	和紙素材 W-RPM (ウーファー)
インピーダンス	6 Ω
定格入力	35W

Bluetooth部

バージョン	Ver.4.0
プロファイル	A2DP、AVRCP
コーデック	SBC
SCMS-T	非対応
NFC	対応

基本仕様

外部入力端子	2 系統 (RCA ステレオ / 3.5mm ステレオミニプラグ)
出力端子	3.5mm ステレオヘッドホン端子
外形寸法	本体 (突起物除く) (約) W250 × D243 × H146mm スピーカー (1 本) (約) W160 × D202 × H244mm
質量	本体 (約) 2.7kg (本体のみ) / スピーカー (1 本) (約) 2.0kg
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	動作時 35W (待機時 0.5W)

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

長年ご使用のCDステレオシステムはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤ福井A&Vサービスセンターに点検をご相談ください。

株式会社ドウシシャ

(東京本社第一ビル) 〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10 (大阪本社) 〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ福井 A & V サービスセンター 【受付時間】 9:00 ~ 17:00 (土日祝以外の月~金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1 **TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799**

- ※ 製品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。
- ※ FAX もしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。